

令和2年度 社会福祉法人明徳会 事業計画

◇ 今年度のポイント

① 「明徳会」のブランドの再構築を図っていきます。

- 開設当初から大切にしてきた権利擁護（アドボカシースタンダード）を基にして、前向きにチャレンジする気持ちを誰もが持てる施設作りに取り組んでいきます。
- ご利用される方にとって最善で先駆的なサービスを提供できるよう、内部・外部を問わず、スキルアップ・フォローアップ研修を積極的に行っていきます。
- 意思決定支援を基にして、ご利用者様がわかりやすく楽しく喜んでいただけるようなサービスの提供を目指します。体感しやすく、選び易い「提案の見せる化」を追求し、信頼できるブランド力を求め明徳会の強みを生かした「ブランド力の再構築」に取り組んでいきます。

② 職員・ご利用者様の多様性に対応できる環境をつくります。

- 新卒の学生が集まらない、正規職員が集まらない等の現象は可能な限り策を講じ、長期的に解決する方針を続けていきます。その一方でパートスタッフや夜勤対応スタッフの雇用等、今できることをピンポイントで対応し現実的な対応策を講じていきます。
- 働く職員の生活スタイルや仕事に対する価値観、家庭と仕事の両立等、様々な雇用条件の多様性に対応していきます。多様な働き方に対応しながらも公平性の観点を意識し、バランスの取れた給与体系の整備を進め、働き方改革による有給取得や休憩の取れる人員配置に努めていきます。

③ 安定した経営基盤の確立とチャレンジできる法人組織の強化を図っていきます。

- 今の社会情勢を踏まえ事業拡大を進めます。グループホームを開所させ安定した運営をスタートさせます。また、事業拡大は必ずしも新規事業を開始することだけではなく、今のサービスについて利用率や効率を上げることも事業拡大と捉え、既存の施設サービス運営について分析・見直しを図っていきます。
- 組織づくりでは、これまで支援員等が片手間に行ってきた委員会や係の業務を専門的に行う機関の整備に着手していきます。また、何度かチャレンジして実現までできていないコンシェルジュや、人材育成の専門部署設置も視野に入れ準備していきます。
- SDGsの整備を進め、明徳会としてまた一職員として持続可能な開発目標の策定・実行を進めます。

一言コメント

平成13年からスタートした「VISION」を見直し、新たに「VISION2」を作成し再スタートとします。2024年までの達成を目指し頑張ります。

◇ 事業方針

「ブランド力の再構築」

今年度は新たに「VISION2」を作成し、2024年度を目途に取り組む重点目標を掲げ事業を運営していきます。その中で今年度はブランド力の再構築を運営ポリシーに掲げ1年間取り組んでいきたいと考えています。今まで開所から育ててきた自分たちの強みを再認識し、それを更に生かしていける一年としていきます。

◇ 事業所ごとでの取り組み

●チャレンジめいとくの里

【入所／介護系】

前年度唯一残したオーパスGも解体し、今年度から日中活動に関しては入所部・通所部完全に分離した形でスタートします。分離することで更に社会生活支援や日常生活場面でそれぞれの部署に特化した活動の提供を目指していきます。また働き方改革に関しては夜勤の体制や休憩の取り方など、昨年度から取り組み形ができつつあるところはより一層の環境の整備に取り組んでいきます。

【ゆめくらしワークス】（就労支援・生活訓練・就労継続支援B型・就労定着支援）

就労分野に関しても昨年度は人員不足から一人当たりの職員の負担過多が慢性化している状況となっています。専門性の必要な部署ですぐに人員補充が可能な部署ではないため今年度スタートするにあたって新たな職員配置を行い、人材育成も視野に置いた体制づくりを行い、前年度の課題改善に取り組んでいきます。

●障がい福祉サービス事業所

【ケア・ハピネス】

昨年度、人材確保に関して力を入れて行ってきたことで、課題となっていた人員不足はケア・ハピネスに関してはかなり安定してきています。そのため今年度は再度1.7対1の人員配置を目指し運営を行っていきます。また、その先の重度加算に関しても視野に入れ準備を進めていく一年としていきます。利用率を上げていける体制はできつつあるため、見合わせていた新規ご利用者様の受け入れに関しても実施していければと思っています。

●地域連携室

【熊本市障がい者相談支援センターチャレンジ／地域生活支援センターメイト】

チャレンジに関しては委託3年目の一区切りを迎える年となります。相談に関しても人材面で苦慮していますが、今年度の運営の内容が今後委託を続けて実施していけるかを占う大事な一年となってくると考えています。北区のメイトと両面を考えたところで運営の仕方を検討しながら、引き続き人材確保と育成の両面を視野に入れ、中身の充実を図っていききたいと考えています。

●ゆめくらし事業所

【オレンジハウス／アクアテラス】

今年度7月に新たなグループホーム「アクアテラス」を開所する予定としています。男性女性分けてのグループホームとしていくのか等、中身に関しては利用される方の候補を選定しながら運営方針を固めていきたいと考えています。アクアテラスの開所が今後複数のグループホームの事業を進めていく足掛かりとなります。職員の勤務体制の形や中身の構築、地域との関係性など様々なことを考慮しながら新しいグループホームをつくりあげていきたいと考えています。

●事務部・人事

人材確保が難しいといわれている昨今の社会情勢の中、「2020はたらく仲間プロジェクト」を発足させ、昨年度は夜勤体制3人制の確立や、休憩の取り方等、パートスタッフの大幅な補充もあり一定の効果をおげることができています。今後も職場環境の構築に関しては、ESアンケートの聞き取りやストレスチェックの精査、タイムカード導入から見る課題等、職員の処遇について様々な面で定期的な見直し検討を実施していきます。現代社会に即した多様性を考慮した雇用体制を目指し、福祉を目指す人材が明徳会を職場として選んでもらえるよう、また働いている職員が長く勤めたいと思えるような職場環境構築に取り組んでいきます。

◇「安心」「安全」「安らぎ」に向けて

今年度の運営ポリシーの「ブランド力の再構築」を推し進めるにあたって、法人運営の基本となる「三安」と権利擁護に関しては一番の柱となるものだと考えています。自分たちの強みを知り、実行し、振り返りPDCAを繰り返し行いながら、実行したものは外へしっかりと発信し、自分たちのブランド力を職員ひとり一人が感じるができる一年間としていきたいと思っています。

以上